3. キャラクターの利用

学園祭や体育祭の立て看板などに漫画のキャラクターを描くことは、あり得ることだと思いますが、漫画のキャラクターの顔や姿態は、基本的には美術の著作物として保護されており、漫画の著作権者の複製権が働くことになります。

法第35条第1項では、学校等の教育機関で教育担任者がその授業の過程における使用を目的とする場合に複製できるとされています。

学校行事など特別活動もここでいう授業ですので、例えば、ロングホームルームの進路指導の際に、生徒の進路意識の形成に資する資料としてある書物の一部を複製配布するようなことは許容されると解されます。しかし、学園祭や体育祭の場合は、学校行事の一環ではありますが、授業の過程の用に供するという性格のものでもなく（つまりそのようなキャラクターを用いなければ教育目的が達成できないというものではないということです）、同条の適用はないものと解されます。

したがって、法的には権利者の許諾を得る必要がありますので、注意する必要があります。